



# 広島市とドイツ・ハノーバー市との姉妹都市交流 ～姉妹都市提携 40 周年を迎えて～

広島市市民局国際平和推進部国際化推進課

広島市では、海外の 6 都市と姉妹・友好都市提携を行っており、2023 年、その 1 つであるドイツ・ハノーバー市と姉妹都市提携 40 周年を迎えました。今号では、昨年実施した代表団の相互訪問を中心に、両市の姉妹都市交流についてご紹介します。

## ハノーバー市の概要

ハノーバー市はニーダーザクセン州の州都で、周辺 20 市町村を加えた大都市圏の人口は約 106 万人です。第 2 次世界大戦中、88 回もの空襲を受け、都市の 60% が破壊されましたが、戦後、中世からの伝統がある優れた都市計画のもとで、再び「緑の中の大都市」と呼ばれるドイツで 12 番目の街に成長しました。

現在、州都として政治、経済の中心であるばかりでなく、地理的特性を生かして道路、鉄道交通の要衝としての役割を果たしています。



ハノーバー市の風景（画像著作権：HMTG）

## 姉妹都市提携の経緯

1968 年、日独文化協定に基づく青少年交流日本代表団として、広島国際青少年協会総主事が広島市の大学生 2 人を含む若者 130 人を連れてハノーバー市を訪問しました。これがきっかけとなって青少年の相互訪問が始まり、この交流の積み重ねによって、両市の友好関係が培われ、1983 年 5 月 27 日、広島市長と市議会代表がハノーバー市において姉妹都市提携協定書

に調印しました。

青少年交流団体による相互訪問事業は現在も継続しており、両市の交流の柱となっているほか、茶道交流も活発に行われています。

ハノーバー市は平和の推進にも大変熱心です。広島市が会長を務め、166 か国・地域の 8,000 を超える都市が加盟する「平和首長会議」の副会長都市およびドイツ国内でのリーダー都市に就任し、広島市とともに核兵器廃絶に取り組み、毎年 8 月 6 日には平和記念式典を開催していただいています。また、ウクライナからの避難民を積極的に受け入れています。

## 姉妹都市提携 40 周年記念事業

2023 年 8 月、ハノーバー市からベリット・オーナイ市長を始めとする代表団 21 人が広島市を訪問しました。一行の滞在中、広島市では、両市の友好の促進に尽力されているオーナイ市長の功績を称え、「広島市特別名誉市民」の称号を贈呈しました。また、一行には平和記念式典に参列していただき、姉妹・友好都市を代表して、オーナイ市長に献花をしていただきました。



オーナイ市長への「広島市特別名誉市民」称号の贈呈

市民との交流では、両市の交流を紹介するパネルの展示、ハノーバー市での青少年交流に参加した大学生の発表、ソーセージやバウムクーヘン、ドイツワインの試食・

試飲、ドイツ音楽のコンサートなどを盛り込んだ記念行事を開催し、当日は500人を超える来場者がありました。来場者からは、「いろいろな文化に触れることができ大変貴重な時間となった」「姉妹都市の交流の取り組みが良く理解できた」「楽しみながらハノーバーについて親しむことができた。今後も交流が広がっていくことを期待している」などの感想が寄せられ、広島市民がハノーバー市との友好を深める良い機会となりました。



記念行事の様子

11月には、松井一實市長を始めとする代表団17人がハノーバー市を訪問しました。

ハノーバー市庁舎で開催された姉妹都市40周年記念式典では、ハノーバー市が松井市長のこれまでの音楽文化振興への貢献を称え、松井市長をユネスコ音楽都市ハノーバー大使に任命しました。その返礼として松井市長が、ドイツ語でベートーベンの「喜びの歌」を独唱したところ、参加者からは大きな歓声と拍手が起きました。



姉妹都市40周年記念式典での松井市長とオーナイ市長

また、両市長との会談では、次世代を担う青少年たちが、平和が大事であることを実感できるような取り組みが重要であるとの点で意見が一致し、今後、サッカー交流、ハノーバー市での茶道文化の普及、音楽交流を検討していくことになりました。

市民との交流では、広島発祥で、ハノーバー市で長年茶道文化の普及に努めている「上田宗箇流」と広島市の共催による「サムライ・茶文化と広島復興」イベントの開会式を開催しました。会場には茶室を設置し、茶道のデモンストレーションを行ったほか、経済、観光、「ザ・広島ブランド」のパネルや工芸品を展示しました。当日は、約200人のハノーバー市民が来場し、代表団との交流や広島の魅力を楽しんでもらいました。



「サムライ・茶文化と広島復興」イベントでの茶道のデモンストレーション

## 終わりに

今回、ハノーバー市との姉妹都市提携40周年という節目の年を迎え、これまでの両市の交流の積み重ねを互いに振り返るとともに、今回の相互訪問を新たな出発点として、両市の友好関係を改めて確認することができました。

また、市民間および行政間の幅広い分野での多様な交流、特に、戦災復興都市同士として、青少年および平和の推進を中核とした交流に支えられてきた両市の強い絆は、これからも変わらないものと確信することができました。

広島市では、こうした絆を大切に、これからも両市で青少年を対象とした未来志向の交流を推進し、より一層の友好関係と相互理解を深めていきたいと考えています。